

## プラント状況確認結果(令和6年3月13日～令和6年3月19日)

令和6年3月20日  
福島県原子力安全対策課

令和6年3月13日～令和6年3月19日までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりであり、前回の報告から大きな変動はありません。

### プラント状況(3月19日午前11時)

以下の項目について、実施計画\*に定める制限を超える測定値はありません。

また、県の檜葉町駐在職員が福島第一原子力発電所中央操作室にてプラント状況を確認しています。確認結果はこちら([県HP](#))を御覧ください。

場所	目的	監視項目*	1号機	2号機	3号機	4号機 <sup>※2</sup>
原子炉 <sup>※1</sup> (核燃料)	冷却	注水量(m <sup>3</sup> /h)	3.7	1.3	3.7	—
		压力容器 底部温度(°C)	13.9	23.4	16.3	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	1.46×10 <sup>-3</sup>	検出限界値 未満	検出限界値 未満	—
压力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (体積%)	0.00	0.05	0.39	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	21.7	20.7	— <sup>※3</sup>	—

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉及び使用済燃料プールに核燃料が入っていないため冷却等は必要ありません。

※3 全燃料取り出し完了により、計測不要です。

(1) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(3月19日午前10時)  
最小 0.313(MP-6)～最大 0.970(MP-4) μSv/h ⇒[計測地点の地図](#)

(2) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(3月17日採取分)

最小 検出限界値未満 ※検出限界値は約0.35 Bq/L(港湾内西側)  
～最大 2.7 Bq/L(遮水壁前)  
⇒[計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(3月16日採取分)

5、6号機放水口北側：検出限界値未満 ※検出限界値は約0.68 Bq/L  
南放水口付近：検出限界値未満 ※検出限界値は約0.64 Bq/L  
⇒[計測地点の地図](#)

(4) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果

敷地境界に設置されている連続ダストモニタにより24時間連続で監視しております。測定結果はリアルタイムで公開されていますので、こちら([東京電力HP](#))を御覧ください。

(5) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(3月15日採取分)

最小 検出限界値未満 ※検出限界値は約 4.3 Bq/L (4号機)  
～ 最大 1900 Bq/L (2号機)

トラブルの概要(令和6年3月13日～令和6年3月19日)

この一週間におけるトラブル等について、東京電力から以下のとおり報告を受けました。

■ 建屋内R0循環設備トラフ内漏えい検知器作動について(続報)

3月12日午後8時57分頃、プロセス主建屋外近傍に設置した建屋内R0循環設備の移送配管が収められているトラフ内において、漏えい検知器が作動したことを示す警報が発生したことについて、その後の状況をお知らせいたします。当社社員が現場にて、トラフ内に溜まっている水の線量測定を行いバックグラウンドと同等であることを確認したことからトラフ内ならびに洞道内に溜まっている水は汚染水ではないと判断しました。準備が整い次第、トラフ内ならびに洞道内の水の回収を行います。

詳しくはこちら [\(1\)](#) をご覧ください。

■ 3月13日福島県沖を震源とする地震について

3月13日午後20時24分頃、福島県沖を震源とする地震(マグニチュード4.7)が発生しました。(気象庁発表)(双葉町:震度3、大熊町:震度3、富岡町:震度3、楢葉町:震度4)地震後の状況については添付をご確認ください。

■ 3月15日福島県沖を震源とする地震について

3月15日午前0時14分頃、福島県沖を震源とする地震(マグニチュード5.8)が発生しました。(気象庁発表)(双葉町:震度4、大熊町:震度4、富岡町:震度4、楢葉町:震度5弱)地震後の状況については添付をご確認ください。

■ 3月17日福島県沖を震源とする地震について

3月17日午前6時17分頃、福島県沖を震源とする地震(マグニチュード5.4)が発生しました。(気象庁発表)(双葉町:震度4、大熊町:震度4、富岡町:震度4、楢葉町:震度4)地震後の状況については添付をご確認ください。

■ 発電所構内における負傷者発生について

3月19日午前10時25分頃、福島第一原子力発電所構内1号機原子炉建屋屋外において、負傷者が発生し、入退域管理棟救急医療室の医師の診察を受けたところ、緊急搬送の必要があると診断されたため、午前11時20分、救急車を要請しました。状況は以下のとおりです。

- ・負傷者の所属 協力企業作業員
- ・身体汚染の有無 なし
- ・発生状況 作業中、工具で右手薬指を挟み負傷した

当該負傷者は、救急車で医療機関に到着しました。

- ・救急車出発時刻:午前11時51分
- ・救急車到着時刻:午後0時35分

詳しくはこちら [\(1\)](#) [\(2\)](#) をご覧ください。

## \* 実施計画及び監視項目に関する解説

### ○実施計画

正式名称は「福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画」。東京電力の廃炉の取組（設備設置含む）について、原子力規制庁が安全性の審査を行い認可したもので、事業者の安全上守るべき基準値等が示されています。

### ○注水量及び圧力容器底部温度

1～3号機の原子炉格納容器内に存在する溶け落ちた燃料（燃料デブリ）を冷却するため、継続的な注水を行っています。実施計画では原子炉圧力容器の底部温度を80℃以下で管理することを定めています。

### ○キセノン 135 濃度

キセノン 135 はウランが核分裂する過程で生じる放射性物質であり、量によってどの程度核分裂が起きているか推定することができます。実施計画では1 Bq/cm<sup>3</sup>以下であることが定められています。

### ○窒素充填及び水素濃度

水素爆発防止を目的に、原子炉内の水素濃度を測定し、実施計画に定める制限値（2.5%）よりも低いことを確認しています。1～3号機では、原子炉格納容器に窒素を注入することにより水素や酸素の濃度を下げています。

### ○水温

使用済燃料プールの水を循環冷却することにより、プール水温を管理しています。なお、実施計画では60℃（1号機）または65℃（2、3号機）以下で管理することが定められています。

（お問い合わせ 024-521-7255）

## 地震発生後の福島第一原子力発電所の状況

日付	公表内容
3月13日	<p>福島第一原子力発電所内で観測された地震加速度の最大値は、6号機原子炉建屋基礎マットにおいて、水平：3.2ガル、垂直：4.0ガルでした。</p> <p>現在のプラント状況は以下の通りです。(午後20時50分現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリングポスト指示値 <span style="float: right;">有意な変動なし</span></li> <li>・発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値 <span style="float: right;">有意な変動なし</span></li> <li>・原子炉注水設備（1～3号機） <span style="float: right;">運転継続</span></li> <li>・使用済燃料プール冷却設備（1、2、5、6号機、共用プール） <span style="float: right;">異常なし</span></li> <li style="padding-left: 20px;">※3、4号機は地震発生前から使用済燃料取出し済</li> <li>・陸側遮水設備 <span style="float: right;">運転継続</span></li> <li>・外部電源（大熊線3L、4L） <span style="float: right;">異常なし</span></li> <li>・外部電源（双葉線1L、2L） <span style="float: right;">異常なし</span></li> <li>・1～6号機設備プラントパラメータ <span style="float: right;">異常なし</span></li> <li>・滞留水移送設備・水処理設備パラメータ <span style="float: right;">異常なし</span></li> <li>・排気筒モニタ指示値 <span style="float: right;">有意な変動なし</span></li> <li>・構内ダストモニタ指示値 <span style="float: right;">有意な変動なし</span></li> <li>・構内線量表示器指示値 <span style="float: right;">有意な変動なし</span></li> <li>・海水放射線モニタ・構内排水路モニタ指示値 <span style="float: right;">有意な変動なし</span></li> <li>・ALPS処理水希釈放出設備 <span style="float: right;">運転継続</span></li> </ul> <p>地震後のパトロールを実施した結果、各設備に異常がないことを確認しました。 また、本地震によるけが人の発生は確認されておりません。</p>
3月15日	<p>福島第一原子力発電所内で観測された地震加速度の最大値は、6号機原子炉建屋基礎マットにおいて、水平：9.5ガル、垂直：12.0ガルでした。</p>

現在のプラント状況は以下の通りです。(午前0時36分現在)

- ・モニタリングポスト指示値 有意な変動なし
- ・発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値 有意な変動なし
- ・原子炉注水設備(1~3号機) 確認中
- ・使用済燃料プール冷却設備(1、2、5、6号機、共用プール) 確認中  
※3、4号機は地震発生前から使用済燃料取出し済
- ・陸側遮水設備 確認中
- ・外部電源(大熊線3L、4L) 確認中
- ・外部電源(双葉線1L、2L) 確認中
- ・1~6号機設備プラントパラメータ 確認中
- ・滞留水移送設備・水処理設備パラメータ 確認中
- ・排気筒モニタ指示値 確認中
- ・構内ダストモニタ指示値 確認中
- ・構内線量表示器指示値 確認中
- ・海水放射線モニタ・構内排水路モニタ指示値 確認中
- ・ALPS処理水希釈放出設備 確認中
- ・今後、パトロールを実施します。

3月15日午前0時14分頃発生した地震に関する続報です。

- ・モニタリングポスト指示値 有意な変動なし
- ・発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値 有意な変動なし
- ・原子炉注水設備(1~3号機) 運転継続
- ・使用済燃料プール冷却設備(1、2、5、6号機、共用プール) 運転継続  
※3、4号機は地震発生前から使用済燃料取出し済
- ・陸側遮水設備 異常なし
- ・外部電源(大熊線3L) 異常なし
- 大熊線4L 点検中

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 外部電源（双葉線 1L、2L）</li> <li>• 1～6 号機設備プラントパラメータ</li> <li>• 滞留水移送設備・水処理設備パラメータ</li> <li>• 排気筒モニタ指示値</li> <li>• 構内ダストモニタ指示値</li> <li>• 構内線量表示器指示値</li> <li>• 海水放射線モニタ・構内排水路モニタ指示値</li> <li>• ALPS 処理水希釈放出設備</li> </ul> <p>（第 1 報からの修正情報）</p> <p>福島第一原子力発電所内で観測された地震加速度の最大値は、6 号機原子炉建屋基礎マットにおいて、水平：19.4 ガル（修正前：9.5 ガル）</p> <p>※「垂直：12.0 ガル」は変更なし。</p> <p>3 月 15 日午前 0 時 14 分頃発生した地震について、その後の状況をお伝えします。</p> <p>以下の設備については、遠隔監視に異常がないことを確認していますが、あらかじめ定められた手順に従い運転を停止し、パトロールを開始しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ALPS 処理水希釈放出設備</li> <li>• サブドレン設備</li> <li>• 汚染水処理設備 SARRY II</li> <li>• 地下水バイパス設備</li> <li>• 滞留水移送設備</li> <li>• 既設 ALPS</li> </ul> <p>本日（3 月 15 日）午前 0 時 14 分頃発生した地震について、一部内容を修正させていただきます。（福島第一原子力発電所）</p> <p>「続報」において、使用済燃料プール冷却設備（1、2、5、6 号機、共用プール）について「運転継続」としておりましたが、6 号機については、地震前より「冷却停止中」でした。お詫びして訂正させていただきます。</p> <p>誤：使用済燃料プール冷却設備 6 号機 運転継続</p>	<p>異常なし</p> <p>異常なし</p> <p>異常なし</p> <p>有意な変動なし</p> <p>有意な変動なし</p> <p>有意な変動なし</p> <p>有意な変動なし</p> <p>運転停止（停止時刻 0 時 33 分）</p>
--	--

	<p>正：使用済燃料プール冷却設備 6号機 地震前より冷却停止中</p> <p>福島第一原子力発電所において、停止していたALPS処理水希釈放出設備、滞留水移送設備および水処理設備については、設備に異常がないことを確認できたため、全ての設備について運転を順次再開して参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>停止していたALPS処理水希釈放出設備については、本日午後3時49分放出を再開しました。</li> </ul> <p>また、滞留水移送設備および水処理設備についても運転を再開し、全ての設備について現場の異常がないことを確認しております。</p>
<p>3月17日</p>	<p>福島第一原子力発電所内で観測された地震加速度の最大値は、6号機原子炉建屋基礎マットにおいて、水平：38.4ガル、垂直：25.7ガルでした。</p> <p>現在のプラント状況は以下の通りです。(午前6時35分現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリングポスト指示値 有意な変動なし</li> <li>発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値 有意な変動なし</li> <li>原子炉注水設備（1～3号機） 運転中</li> <li>使用済燃料プール冷却設備（1、2、5、6号機、共用プール） 運転中</li> <li>※3、4号機は地震発生前から使用済燃料取出し済</li> <li>陸側遮水設備 運転中</li> <li>外部電源（大熊線3L、4L） 大熊線3L運転中、4L停止中</li> <li>外部電源（双葉線1L、2L） 運転中</li> <li>1～6号機設備プラントパラメータ 異常なし</li> <li>滞留水移送設備・水処理設備パラメータ 異常なし</li> </ul> <p>地下水バイパス揚水ポンプ（C）については地震により停止しており、今後現場を確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排気筒モニタ指示値 異常なし</li> <li>構内ダストモニタ指示値 異常なし</li> <li>構内線量表示器指示値 異常なし</li> <li>海水放射線モニタ・構内排水路モニタ指示値 異常なし</li> <li>ALPS処理水希釈放出設備 停止中</li> </ul> <p>(ALPS処理水の移送のみ停止中。なお、海水移送ポンプについては運転継続中)</p>

・今後、パトロールを実施します。

ALPS 処理水希釈放出設備については、本日 3 時 29 分に計画的に停止しており、準備が整い次第、移送配管内のろ過水置換作業を開始します。

地震により停止した福島第一原子力発電所の地下水バイパス揚水ポンプ（C）については、現場確認し異常のないことを確認しました。

本地震によるけが人の発生は確認されておりません。なお、外部への放射能の影響はありません。

福島第一原子力発電所において、地震後のパトロールを実施した結果、設備の異常がないことを確認しました。